

高下六〇	高下八三	高下六〇	尋下九	×	高下六七	×	×
二四九七	二四九四	二四九四	二四九三	二四九三	二四九三	二四九三	二四九三
全八	全	全五	全	全四	全	全	天保三 仁孝
全	全	全	全	全	全	全	三月四日 高遠町大火、勢利町一丁焼失
大鹽平八郎の亂大阪に起る、仍て人相害來る	七月 田中平八生る（上伊那郡澤渡藤島卯兵衛三男、幼名簽吉、弘化二年十二歳にて飯田本町魚商山高に奉公す）	三月 福澤憲治隨年要録を出版す（隨年要録）	徳川齊昭大砲を幕府に献ず、現在高島公園に保存す	八月 飯島陣屋焼失す（飯島陣屋代官之次第）	此頃田中大務諏訪に來り金刺信吉と交る（下社秋宮神樂殿勸進帳序）	四月より伊藤傳兵衛、傳兵衛殿の堀抜に従事、翌二月完成す（上伊那人名一覽表）	

×	×	×	×	×	×	×
二四九八	二四九八	二四九八	二四九八	二四九八	二四九八	二四九八
天保九 仁孝	全	全	全	全	全	全
宮下正岑歿す	三月 堀候の江戸屋敷焼失、御用金二千兩領内に當る	四月十八日 幕府の御巡見使片桐宿泊	八月 三日 山口不二堀候の妻若山を刺す、若山後に死す	十二月二日 飯田に護送さる	十二月四日 拂曉死罪に處せらる（堀家々傳記）	十二月 宮下權四郎生る（第十八區大區長）
						宮坂恒由甲斐の荊澤川の蜆を諏訪湖に放流す（高坂家文書 諏訪湖の研究）
						五月二十日 堀親實は藩中より人物の輩出を望み書翰を發す